

意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

平成17年3月19日

1. 意見陳述申込者

ふりがな
ご氏名年齢 31 歳 性別 男 ☐ 女 ☐

ご住所 上川郡下川町

2. ご意見

天塩川清流プランについて
天塩川清流プランは、平成11年に北海道(上川・留萌・宗谷支庁)天塩川環境保全検討旧議会 で策定されたプランですが、「天塩川流域懇談会」「天塩川流域委員会」どちらの会議の中 でも十分な協議、検討がされていないように思われます。
「天塩川流域委員会」＝「開発局」＝「国」だから・・・。
天塩川清流プラン＝「北海道」だから・・・というのが主な理由でしょうが流域に住む住民 としては、コレでは納得できません。
これは実際の河川管理においても言えることと思いますが、これは「国」の管轄だから・・・、 ここは「北海道」の管轄だからといった様に、「縦に割られた行政」を浮彫りにした形と言わ ざるを得ません。
天塩川のこれからを方向づける「天塩川流域委員会」が、これでよいのでしょうか？ これから先「天塩川」より良くしていく為には「国」や「北海道」(もちろん流域住民も・・・) といった垣根を取り払った上での議論の場が必要だと思います。
森林の保水力について
前回の「天塩川流域委員会」の中で少し触れていたもので、進言させていただきます。 多くの場合「雨」は「山」という地形によってもたらされる自然現象である事から 「川」は「山」の産物という事が出来るでしょう。 もし、その「山」に木が無かったとしたら・・・？

極端な例ですが、降った雨は一気に山を駆け下りて沢や川に流れ込みものすごい水量と流速で私達の生活を脅かすモノとなるでしょう。

少し前の事です。中国政府の方針で、「木炭」が輸出全面禁止になりましたが、その背景には、切りつくされた山に降った雨が起こす「洪水」「水害」が原因のようですね。

「北海道」においては、洞爺丸台風の前後の、降雨量と河川の流量・流速を比較してみれば、森林の重要性が解かることと思います。

森林の保水力については、色々意見が分かれているみたいですが、少なくとも森林（山の地形：傾斜の程度）は、その土地に流れる「川の性格」を決める、という事が出来ると思います。